

大阪湾沿岸

海岸保全施設整備計画 9

| | | | |
|-------------------------|--|--|----------------|
| ゾ ー ン 名 | 大阪ゾーン | エ リ ア 特 性 | 環境創造・活性化エリア |
| 海 岸 名 | 大阪港 | 区 域 | 住之江区南港 |
| 海 岸 タ イ プ | 直立護岸 | 所 管 | 国土交通省（港湾局） |
| 設計高潮位（H.H.W.L） | T.P.+3.9m | 波 高 （ H o ） | 0.5～2.0m（港内波高） |
| 代 表 堤 防 高 | - | 現 況 の 堤 防 高 | - |
| 現 況 の 施 設 | 護岸 26,978m | | |
| 海 岸 の 整 備 方 針 | ・防護機能の確保・環境回復創造・魅力ある景観創出・海岸利用の促進 | | |
| 海 岸 の 目 標 | 海 岸 の 防 護 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな海岸保全施設の配置を行う。 ・液状化などの対策を検討し、耐震性などを含めさらなる防護機能の強化を推進する。 | |
| | 環 境 の 整 備 と 保 全 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の創造など生態系に配慮し、水質の改善にも寄与する水辺環境を創出する。 ・周辺景観との調和に配慮する。 | |
| | 公 衆 の 適 正 な 利 用 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能と港湾機能が調和した活力とにぎわいのある海岸づくりを進める。 ・海と親しみふれあう喜びを感じる都市型のレクリエーションを楽しむことのできる海岸づくりを進める。 ・海岸利用の多いところでは安全で快適なアクセス路の確保を推進する。 | |
| 整 備 の 必 要 性 | <ul style="list-style-type: none"> ・テクノポート事業の進展に伴い、海岸景観に配慮した周辺機能と調和のとれた整備が必要である。 | | |
| 整 備 計 画 の 概 要 | <p>新たな海岸保全施設の防護ラインの検討を行う。</p> <p>(1) 整備海岸延長 : 未定</p> <p>(2) 整備内容 : 未定</p> | | |
| 住 民 意 見 | <ul style="list-style-type: none"> ・防護に対する万全な対応 ・海辺へのアクセス性の向上 | | |
| 期 待 さ れ る 効 果 | <ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の新設により背後地の安全性の向上が図られる。 ・自然型の緩傾斜護岸により生態系の保護・育成が図られる。 ・緑化・修景によるうるおいのある海岸景観の向上が図られる。 ・緩傾斜護岸によりアメニティ豊かな水辺空間が創出される。 ・都市・港湾などと調和のとれた活力やにぎわいのある空間が創出され、地域振興が図られる。 ・多くの人達が海のレクリエーションを楽しみ健康増進を図ることができる。 ・安全で快適なアクセス路の確保により進み海への親しみが増す。 | | |
| 海 岸 管 理 に お け る 配 慮 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の適切な維持管理 ・ゴミなどの不法投棄、汚損などの防止対策の推進 ・プレジャーボートの放置、不法係留対策の推進 ・バリアフリー化の推進 ・海岸利用者のためのマナー向上のための啓発活動の推進 ・海岸美化運動の推進 | | |

【現況写真】



位置図



【平面図】



洪積層の沈下等により、将来的には防護ラインを設ける必要が想定されることから、今度、検討していくこととしています。

